

うたごえ新聞

12/7

(1998年)

NO. 1688

THE SINGING VOICE OF JAPAN (UTAGOE)

日本のうたごえ全国協議会機関紙
うたごえ新聞社
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-16-36
☎03(3209)0638 FAX03(3200)0105
振替口座 00120-6-5631 毎週月曜日発行



生きるすばらしさを会場いっばいに伝えた障害者のうたごえのステージ・音楽会Ⅱ (11月22日)

21世紀へ いのち・愛・平和

音楽あふれる星 (地球)へ

50周年記念日本のうたごえ祭典TOKYO 11月21~23日 未来を創るのは私たち 17000人が交歓

写真特集

「生きる」喜びを胸いっぱい
にいたりました」
「感動の連続でした。障害者の舞台には涙が出、最後は笑顔で拍手していました」
「洗練された構成、音楽的にも質の高い音楽会でした」
1月の大阪につづいて11月21~23日、東京国際フォーラムでの三つの音楽会をはじめ5つの合唱発表会、日韓音楽交流の夕べへのべ17000



50周年記念祭典合唱団による記念作品「花三題」のステージ。指揮・林光、オーケストラ・新星日本交響楽団・音楽会Ⅲ (11月23日) 写真はいずれも東京国際フォーラムホールA

「未来を創るのは、私たちそのこと。忘れないで——この歌がフィナーレにうたいかわされたことを肝に銘じて。」(北)

問題はこれからだ。大きな節目があった今だからこそ、この際いまままでの枠にとらわれず、自由かつ達意にいろいろな角度から「うたごえ」を深く熱く論じることが大切ではないだろうか。きたんのない発言が、この紙面を通じて飛び交うことを心から期待したい。

うたごえはこれからも手と手をつなぐ人間とともに在るだろう。うたごえの良き伝統を正しく引き継ぐとともに、さらに運動そのものを創造的に発展させることが、50周年を引き継ぐものの責務だろう。

うたごえはこれからもたたかいてもあったうたごえはいつも平和ともあったうたごえはいつも生きる力をくれました

うたごえはいつもたたかいてもあったうたごえはいつも平和ともあったうたごえはいつも生きる力をくれました

50周年記念日本のうたごえ祭典が大きな感動とドラマを残して終わった。50年という長期、困難があっても運動を絶やさず継続・発展させてきたこと自体称讃に価する。まして時々の文化的・社会的に果たした大きな役割をおもむく時、先輩諸氏はもちろんのこと現在を継ぐ同志の奮闘に心から拍手をおくりたい。

